

# ポーランド政治・社会情勢

## (2012年2月16日～22日)

平成 24 年(2012 年)2 月 24 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
<p><b>政治</b></p> <p>トウスク首相, 欧州議会でACTA否決を要請する書簡発出                  パヴラク副首相, PSLの年金制度改革案を堅持                  トウスク首相, 各閣僚と個別面談を実施                  コモロフスキ大統領が最も信頼される政治家                  トウスク首相, 野党に年金制度改革への理解を求める                  ポーランド海軍, 英海軍と共同訓練                  コモロフスキ大統領, リトアニア訪問                  シェモニャク国防相, 国防省の安全保障・防衛関連施策を承認                  ベルズインシュ・ラトビア大統領, ポーランド訪問                  ポーランド・チェコ両国の国防及び外務次官による四者協議開催                  ランメル独下院議長, ポーランド訪問                  外務省, ベラルーシによる下院議員団への入国拒否を非難                  政府, アフガニスタン派遣延長等軍部隊の海外派遣案を大統領に上申                  コパチ下院議長, チェコ訪問</p> <p><b>経済</b></p> <p>石炭鉱業部門が過去最高収益                  ブルガリアがポーランド産卵の販売を禁止                  バイオガス・プラントが今後ブームになる見込み                  家計貯蓄が間もなく1兆ズロチに                  FDI2011年実績及び2012年見通し, 何れも良好                  2011年財政赤字が当初案より縮小                  欧州委員会がイノベーション経済プログラム向け補助金の拠出を停止</p> <p><b>社会</b></p> <p>心筋梗塞による死亡減少</p> <p><b>大使館からのお知らせ</b></p> <p>平成24年度分教科書の配付について                  ヴロツワフ領事出張サービスについて                  東日本大震災義捐金受付について                  文化行事・大使館関連行事</p> <p style="text-align: center;">在ポーランド日本国大使館                  ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000  <a href="http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm">http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm</a></p>								<p>【お願ひ】3か月以上滞在される場合、在留届を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！</p> <p>問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書 在外投票 旅券 戸籍 国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>

政	治
内	政

**トウスク首相、欧州議会でACTA否決を要請する書簡発出【17日】**

17日、トウスク首相は、偽造品の取引の防止に関する協定(ACTA)を批准しない考えを表明。欧州議会の欧州人民党(EPP)に所属する欧州議員と会談し、欧州議会においてACTAを否決するよう申し入れを行った。

**パウラク副首相、PSLの年金制度改革案を堅持【19日】**

19日、政府が検討する年金制度改革に関して、連立与党である農民党(PSL)のパウラク党首(副首相)は、児童を持つ女性への年金支給年齢引き上げについて緩和すべきとする対案を発表。トウスク首相と同副首相は23日に本件について協議する予定。

**トウスク首相、各閣僚と個別面談を実施【22日】**

トウスク首相は、政権2期目が発足して100日が

経過したのを機に、各閣僚と個別面談を開始した。まず、シコルスキ外相及びロストフスキ財務相と面談を行い、両相のEU関係での取組を評価。

**コモロフスキ大統領が最も信頼される政治家【22日】**

22日、CBOS世論調査によれば、最も信頼されるポーランドの政治家はコモロフスキ大統領(72%)となり、以下、パウラク副首相(50%)、シコルスキ外相(48%)、トウスク首相(44%)の順となった。

**トウスク首相、野党に年金制度改革への理解を求める【22~23日】**

トウスク首相は、先週の民主左翼連合(SLD)、「パリコト運動」に引き続き、22日に最大野党「法と正義」(PiS)を、23日に「連帯ポーランド」会派をそれぞれ往訪し、年金制度改革への理解を求めた。両右派野党はそれぞれ反対の意向を表明した。

外	交
---	---

**ポーランド海軍、英海軍と共同訓練【15~17日】**

15~17日、ポーランド海軍はバルト海に於いて英海軍と共同訓練を実施。訓練項目は海・空からの攻撃に対する船団護衛。英海軍からは艦隊旗艦でもある揚陸艦「HMS Bulwark」が参加。

**コモロフスキ大統領、リトアニア訪問【16日】**

16日、コモロフスキ大統領は、リトアニアを訪問し、グリボウスカITE・リトアニア大統領と会談。エネルギー安全保障やミサイル防衛等、5月のNATO首脳会合の議題について協議した後、ともにリトアニア独立記念日式典に出席。また、コモロフスキ大統領は、現地のポーランド語学校を訪問し、在リトアニア・ポーランド人活動家と対話。

**シェモニャク国防相、国防省の安全保障・防衛関連施策を承認【16日】**

16日、シェモニャク国防相は、国防省による全276件の安全保障・防衛関連施策を承認。主なものとしては、先進練習機(AJT:Advanced Jet Trainer)の導入、戦闘支援ヘリ、新型潜水艦、戦術中距離UAVの調達等。

**ベルズインシュ・ラトビア大統領、ポーランド訪問【16~17日】**

16~17日、ベルズインシュ・ラトビア大統領は、ポーランドを訪問。コモロフスキ大統領と会談し、ポーランドとバルト三国との間でのエネルギー協力等に

ついて協議したほか、トウスク首相との会談では、EUの財務問題等について協議。また、同大統領の訪問にあわせ、第二次世界大戦後にポーランドで発見され保管・展示されていたラトビアの古美術品2点を同国に返還する式典が開催され、コモロフスキ大統領からベルズインシュ大統領にルネサンス様式の燭台が手渡された。

**ポーランド・チェコ両国の国防及び外務次官による四者協議開催【17日】**

17日、ポーランド・チェコ両国の国防次官、外務次官による四者協議がプラハにて開催。両国間及びヴィシェグラード・グループ内の安全保障面における協力、5月のNATO首脳会合で議題となる問題(アフガニスタン、ミサイル防衛、NATO・露間の協力)等について協議。

**ランメル独下院議長、ポーランド訪問【17日】**

17日、ランメル独下院議長は、ポーランドを訪問し、コパチ下院議長と会談。両国及びワイマール三国の議会間協力の発展、4月にワルシャワで開催されるEU加盟国会議長会合の準備、EU共通安全保障・防衛政策に対する議会のコントロール等について協議。また、ランメル下院議長はコモロフスキ大統領とも会談。

**外務省、ベラルーシによる下院議員団への入国拒否を非難【21日】**

21日、在ベラルーシ・ポーランド人との協議のため、陸路グロドノに向かっていたポーランド下院議員6名(「在外ポーランド人との連携委員会」メンバー)は、国境において、ベラルーシ側から入国を拒否された。ベラルーシ側は、同訪問に関する事前連絡がなかったための措置と説明したものの、ポーランド外務省は非民主的行為として、これを非難。

### 政府、アフガニスタン派遣延長等軍部隊の海外派遣案を大統領に上申【21日】

21日、政府は4月13日に期限切れとなるアフガニスタンにおけるISAFミッションについて、2012年10月13日まで延長する案を大統領に上申。派遣人員数は現在と変わらず2,500名(国内予備200

名)。また、2012年4月15日～9月15日の6ヶ月間、ポーランド空軍Mig 29部隊(4機及び要員100名:部隊名「Orlik 4」)のNATOバルト空域監視ミッションへの派遣についても大統領に上申された。同任務に対し、ポーランドは2006、2008及び2010年にも部隊を派遣している。

### コパチ下院議長、チェコ訪問【22日】

22日、コパチ下院議長は、チェコを訪問し、ニェムツォヴァ・チェコ下院議長と会談。両国下院議会間の協力について協議し、両議会の経済、財務及び外交委員会間の協力に合意したほか、両議会幹部による定例会合の開催について検討。

## 経 済

### 石炭鉱業部門が過去最高収益【16日】

公式の結果は発表されていないが、市場専門家や各企業は、2011年は石炭セクターにとって最良の年の一つだったと見込んでいる。2011年、石炭鉱業部門の5大会社(JSW, NWR, ボグダンカ, コペックス, ファムール)の合計で、収入は200億ズロチ、純利益は32億ズロチを超えた模様。専門家は、好調な経済環境、石炭価格の上昇に加え、大規模鉱山の資金状態の改善が要因である旨述べている。経済省は、石炭鉱業会社が2011年、約100%支出を増加させたとしている。

### ブルガリアがポーランド産卵の販売を禁止【20日】

20日、ブルガリア政府は、採卵養鶏の飼育ケージの大きさに関するEU規則を遵守していない、ポーランド養鶏農家の卵の販売禁止を決定。ナイデノフ・ブルガリア農業相は、24万8千個のポーランド産卵の販売禁止を発表。同相は、記者会見の中で、ブルガリア動物衛生担当局がポーランド産卵の販売禁止措置を決定したのは最近3週間で2回目となる旨述べた。

### バイオガス・プラントが今後ブームになる見込み【21日】

政府は、各地方自治体が2020年までにバイオガス・プラントを所有することを望んでいる。農業・農村開発省は、ポーランドには年間17億立方メートル相当のバイオガスを生産するだけのバイオマス資源が存在すると見積もっている。プラウダ在独ポーランド大使は、ドイツで開催されたバイオガス・ワールド・フェアにおいて、「ドイツにはバイオガス・プラントが7,000箇所あるのに対し、ポーランドには200箇所しかない、ポーランドは再生可能エネルギーに更に取り組みむ必要があり、風力発電プー

ムに続いて、現在バイオガス・ブームを見込んでいる」と述べた。

### 家計貯蓄が間もなく1兆ズロチに【22日】

ジェチポスポリタ・オンライン版によると、経済危機にもかかわらずポーランド国民の貯蓄は急速に伸びており、間もなく1兆ズロチに達する見込み。昨年の家計貯蓄は前年比6%上昇し9,670億ズロチで、その約半分は銀行預金となっている。銀行預金総額は2011年前年比で13%上昇。専門家は、2012年は個人年金口座と定期預金の人気が高まると予想している。国民はリスク資産による運用には慎重で、2011年の株式市場の停滞により投資ファンドは顧客を6%減らしている。

### FDI2011年実績及び2012年見通し、何れも良好【22日】

ブルスビジネス紙は、中央銀行の2011年のFDIは99億ユーロに達し、2010年より50%増加する見通しと報じている。経済省は2012年FDI見通しについて、150～200億米ドルで2011年の142億米ドル(UNCTAD発表値)を上回ると予想。また、同省によると、2011年に登録された外資系企業数は2,797社で、現在登録されている同企業総数は53,000社で、全ポーランド企業の約25%を占める。

### 2011年財政赤字が当初案より縮小【22日】

財務省の22日の発表によると、2011年の財政赤字は、当初見込みの402億ズロチに対し、251億ズロチであった。支出の削減(107億ズロチ)及び収入増により、赤字は151億ズロチ抑えられた。累積債務は、2011年ESA95ではGDP比56.6%、政府計算では同53.8%となった。国内法で

は痛みを伴う調整の発動を避けるため、同債務が55%を下回らなければならない。ロストフスキ財務相は、「2012年後半にはポーランドはEUの財政監視プログラムの対象から外れると見込んでいるが、その後も2015年までに財政赤字がGDP比1%となるまで断固として赤字を削減していく」とコメント。

### 欧州委員会がイノベーション経済プログラム向け補助金の拠出を停止【23日】

欧州委員会のトン・ヴァン・リーロップ広報官は、

ポーランドにおける地域プログラムであるイノベーション経済プログラム向けとなる、約3億1,200万ユーロの支払いを停止した旨発表。同委員会は、このプログラムの運用・管理をしているポーランドの制度に深刻な欠陥があると指摘。特に、公共契約に関わる入札過程の問題が、繰り返し指摘されている。ポーランドは、本件に対する説明及び解決策を示すため、3か月の期間を与えられ、欧州委員会は、この問題が解決するまで同プログラムへの新たな申請を受け付けないと説明している。

## 社 会

### 心筋梗塞による死亡減少【17日】

ポーランドでは心筋梗塞などの冠動脈心疾患による死亡数が1991年から2005年の間に半減。その

理由は、ライフスタイルの変化によるリスク因子の減少(男性は喫煙率の低下、女性は高血圧の減少)及び治療法の進歩によると考えられる。

## 大使館からのお知らせ

### 平成24年度分教科書の配付について

大使館では、ポーランド在住の邦人子女を対象に、平成24年度分教科書を配付いたします(ワルシャワ日本人学校に通学しているお子様には学校から配付されますので、今回の配付の対象とはなりません)。詳しくは下記HPをご覧ください。

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/j\\_20120201.html](http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/j_20120201.html)

### ヴロツワフ領事出張サービスについて

大使館は、3月3日(土)10時から13時までの間、Hotel Mercure Wroclaw Panorama(Pl. Dominikanski 1, 50-159, Wroclaw)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは、下記HPをご覧ください。

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/ryoji\\_sabisu\\_0112.pdf](http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/ryoji_sabisu_0112.pdf)

### 東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成24年3月31日(土)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm)

## 文化行事・大使館関連行事

### **〔開催中〕日本ポーランドふるしきデザインコンテスト受賞作品展示【2月2日(木)～29日(水)】**

在ポーランド日本国大使館広報文化センターにて、「日本ポーランドふるしきデザインコンテスト」の受賞作品展示が開催されます。同ふるしきコンテストは、国際交流基金と当館共催により、文化・国民遺産省及びワルシャワ美術大学の協力を得て、昨年10月～11月に実施されたものです。審査の結果選ばれた12点の作品を、広報文化センター展示ホールにてご覧いただくことができます。入場は無料です。

問合せ先・開催場所:当館広報文化センター(住所:Al.Ujazdowskie 51, Warszawa, 電話:22-584-7300, Eメール:[info-cul@emb-japan.pl](mailto:info-cul@emb-japan.pl))

### **〔開催中〕展示会「浮世。日本美術からインスピレーションを受けたヤン・スタニスワフスキとその弟子の絵」【2月21日(火)～5月31日(木)】**

狩猟・乗馬博物館にて、日本美術技術博物館との協力により、「浮世。日本美術からインスピレーションを受けたヤン・スタニスワフスキとその弟子の絵」と題する展示会が開催されています。風景画をテーマにした展示で、モダニズム派のポーランド人画家による作品及び日本の浮世絵が展示されます。入場料は大人3PLN(木曜日は入場無料です)。



問合せ先・開催場所: 狩猟・乗馬博物館 (住所: Ul. Szwolezerow 9, Warszawa(ワジェンキ公園敷地内), 電話: 22 522 66 30, Eメール: [mlj@muzeum.warszawa.pl](mailto:mlj@muzeum.warszawa.pl))

**【開催中】「着物対スーツ 60年代の日本」写真展【2月23日(木)～3月24日(土)】**

ワルシャワのフォトプラスティコン・ギャラリーにて、ワルシャワ蜂起博物館主催による、「着物対スーツ 60年代の日本」と題した写真展が開催されています。写真展のほか、茶道デモンストレーションや折紙ワークショップ等が予定されています。

問合せ先・開催場所: ワルシャワのフォトプラスティコン (住所: Al. Jerozolimskie 51, 電話: 22 629 60 78, Eメール: [fotoplastikon@1944.pl](mailto:fotoplastikon@1944.pl), ホームページ: <http://fotoplastikonwarszawski.pl/>)

**【予定】「友情は、津波にも負けない！」チャリティコンサート【2月27日(月), 3月2日(金)】**

プウォツク及びクラクフにて、「プウォツクの子供たち」民族舞踊団主催による、宮城県の被災者のためのチャリティコンサートが開催されます。三味線演奏者である市川響氏の演奏も予定されています。入場料は被災者支援のために寄付されます。

問合せ先: HZPiT Dzieci Plocka (住所: Jachowicza 34, Plock, 電話: 24 262 31 45, Eメール: [kontakt@dzieciplocka.pl](mailto:kontakt@dzieciplocka.pl), ホームページ: <http://www.dzieciplocka.pl/>)

開催場所:

2月27日(月): Teatr Dramatyczny im. J. Szaniawskiego w Plocku (住所: Nowy Rynek 11, Plock, 電話: 24 266 38 00, Eメール: [teatr@teatrplock.pl](mailto:teatr@teatrplock.pl))

3月2日(金): Nowohuckie Centrum Kultury (住所: Al. Jana Pawla II 232, Krakow, 電話: 12 644 02 66, Eメール: [nck@nck.krakow.pl](mailto:nck@nck.krakow.pl))

**【予定】武蔵野美術大学の学生による日本現代美術展示【3月1日(木)～2日(金)】**

当館広報文化センターにて、武蔵野美術大学の学生による日本現代美術展示が開催されます。学生達が初めてポーランドを訪問し、それぞれの作品を披露します。入場は無料です。

問合せ先・開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター (住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa, 電話: 22 584 7300, Eメール: [info-cul@emb-japan.pl](mailto:info-cul@emb-japan.pl))

**【予定】「Zywiol」チャリティコンサート【3月5日(月)】**

クラクフのフィルハーモニーにて、京都クラクフ基金主催により、東日本大震災地気仙沼市市民への義援活動を目的とするチャリティコンサートが開催されます。集められた募金は当館の義捐金口座を通して日本へ送金される予定です。

問合せ先: 日本美術技術博物館「マンガ」(住所: M. Konopnickiej, Krakow, 電話: 12 267 27 03, Eメール: [fundacja@manggha.krakow.pl](mailto:fundacja@manggha.krakow.pl), ホームページ: <http://www.manggha.krakow.pl>)

開催場所: クラクフ・フィルハーモニー (住所: Zwierzyniecka 1, Krakow, 電話: 12 619 87 21, Eメール: [fk@filharmonia.krakow.pl](mailto:fk@filharmonia.krakow.pl), ホームページ: <http://www.filharmonia.krakow.pl/>)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

#### **皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

#### **【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 [newsletter@emb-japan.pl](mailto:newsletter@emb-japan.pl)  
(ご連絡は電子メールでお願いします。)